

V. 海外学会参加の概要

第11回EASTSセブ会議

The 11th EASTS Conference in Cebu

河上翔太* 毛利雄一** 萩野保克*** 森尾 淳**** 剣持 健***** 岡 英紀*

By Shota KAWAKAMI, Yuichi MOHRI, Yasukatsu HAGINO, Jun MORIO, Takeshi KENMOCHI and Hideki OKA

1 はじめに

EASTS (Eastern Asia Society for Transportation Studies) は、隔年で国際会議を開催している。第11回EASTS国際会議は、2015年9月11日～14日までフィリピン・セブにおいて開催された。本稿では、国際会議の概要を紹介する。

2 EASTS

EASTSは、アジアにおける産官学の専門家が交通問題に関する議論、研究、人的交流を広く活性化させることを狙いとして、1994年に設立された学会である。これまでに、19の国と地域が参画し、会員数は1,600人を超えている。

EASTSは、単なる国際学会にとどまらず、各国／各地域に独自の学会を設立することにより、ネットワークとして機能している。日本においては、1995年にEASTS - Japan (アジア交通学会) が設立され、国際会議やシンポジウム等を通じて、アジア地域の交通専門家と活発な情報交換を行っている。

EASTSの国際会議は、1995年の第1回マニラ会議以降、隔年で開催されている。アジア地域の大学研究者だけでなく、行政や実務も含めた交通専門家の学術交流や情報交換の場を提供している。

第11回EASTSセブ会議に併せて理事会が開催され、新会長に屋井鉄雄教授、第2副会長にTran Tuan HIEP教授、事務局長に岡本直久教授が就任した。

3 EASTSセブ会議

第11回EASTSセブ会議は、“Resilient and Inclusive Transportation Systems through Smarter Mobility” をテーマにして、アジア・太平洋地域から541名が参加し、475本の論文が発表された。

基調講演では、フィリピン運輸通信省のAtty. Jaime Fortunato Caringal次官補による“Resilient and Inclusive Transportation Systems through Smarter Mobility”、フィリピン司法省のHon. Geronimo Sy氏による“impact of Competition in Building a Resilient and Inclusive Transportation in the Face of ASEAN Integration”の2つの講演があった。

その後、口頭発表セッション、ポスターセッション、WCTR & EASTS合同スペシャルセッション、スペシャルセッション、EASTSにおける国際的な連携と研究活動の活性化を目的として実施している国際研究グループ (IRG: International Research Group) による研究プロジェクトのセッションが開催された。セブ会議のトピックは、表-2の通り、内容は極めて多岐に渡る。

表-1 EASTS国際会議

	開催年	開催都市
第1回	1995年	マニラ (フィリピン)
第2回	1997年	ソウル (韓国)
第3回	1999年	台北 (台湾)
第4回	2001年	ハノイ (ベトナム)
第5回	2003年	福岡 (日本)
第6回	2005年	バンコク (タイ)
第7回	2007年	大連 (中国)
第8回	2009年	スラバヤ (インドネシア)
第9回	2011年	済州 (韓国)
第10回	2013年	台北 (台湾)
第11回	2015年	セブ (フィリピン)



写真-1 基調講演の様子

スペシャルセッションの一つは、「東アジアにおける持続可能な都市の物流システムの構築」をテーマにして、日本、中国、韓国、台湾、フィリピンの調査結果が報告された。日本からは、兵藤哲朗教授が東京都市圏物資流動調査データを用いた解析結果を報告し、会場内にいた海外の研究者からも高い関心を集めていた。また、国際研究グループによる研究プロジェクトのセッションにおいても「アジアにおける物流：相互依存サプライチェーンとインテリジェントマネジメントの推進」をテーマにした調査結果が報告された。

会議のセッション全体を通しては、発表されたトピックは多岐に渡るが、アジア地域の交通における課題として、維持管理、交通安全、物流に対する認識が高いように感じた。

表-2 セブ会議における研究トピックス

トピック	セッション
交通一般	アジア特有の課題、交通と貧困削減、国際協力、調査とデータ収集、交通と自然災害
交通の経済と政策	プライシング、財源、事業評価、規制(緩和)・民営化等、交通需要管理政策、ITS政策、マルチモーダル交通政策、持続可能な交通政策
交通需要の分析と予測	交通行動分析、交通需要モデリングと予測、ネットワーク分析と交通の割り当て
物流と貨物輸送	物流と貨物輸送政策、国際・地域間物流、都市物流、物流ビジネスにおける運営と管理
地域の計画と環境	都市・地域計画、土地利用と空間分析、交通と環境、交通とエネルギー、景観と都市デザイン、観光とレジャー活動
公共交通とノンモータライズド交通	都市間鉄道、都市鉄道・LRT・ガイド交通システム、バス・BRT、パラトランジット、歩行者・自転車、駅・停留所施設、交通と都市地域開発
高速道路のデザインと維持管理	高速道路計画とデザイン、舗装、道路維持管理、駐車施設
道路交通工学	運転と運転者のモデリング、交通流分析、高速道路の要領とサービス水準、ネットワークデザイン、交通と信号制御、交通シミュレーション、自動二輪車、ITS
交通事故と交通安全	事故分析、運転挙動と安全、安全とITS技術
航空と水上交通	航空/水上交通政策、空港/港湾の計画と工学・管理、航空と水上交通の政策、航空と水上交通の運営と管理
実践的トピック	工学・技術・デザイン、政策・計画・管理、制度・組織・財源等

本研究所からは、岡 研究員による“Influence Analysis of Expressway Toll Discounts”と河上 研究員による“Changes in transportation behavior in the Tokyo metropolitan area based on person-trip survey data”の2本の論文が発表された。

4 おわりに

EASTSの国際会議を通して、アジアにおける交通問題が極めて多様であると感じた。国によって交通問題にも様々な違いがあるが、一方では各国の専門家は予想以上に問題に対する共通の認識を有しているようにも見受けられた。アジア地域の深刻な交通問題に対応するために、研究、実務の情報交換を進めることが重要であると考えます。

第12回EASTS国際会議は、2017年9月にベトナム・ビンズオンで開催される予定である。

参考文献

- 1) EASTS, <http://www.easts.info/>
- 2) アジア交通学会 (EASTS-Japan), <http://www.easts.info/eastsjapan/>